



現場レポート

北京事務所

SNS および雑誌を活用した日本の魅力紹介 ～北京事務所における情報発信事業～

(一財)自治体国際化協会北京事務所 所長補佐 羽根 実咲 (長野県派遣)、福田 慧美 (滋賀県派遣)

北京事務所における情報発信事業

クリア北京事務所では、中国で普及している SNS ツールである WeChat と中国国内で発行されている日本語学習者向けの月刊誌「一番日本語」を活用して、日本の地域の魅力を PR しています。

WeChat を活用した情報発信

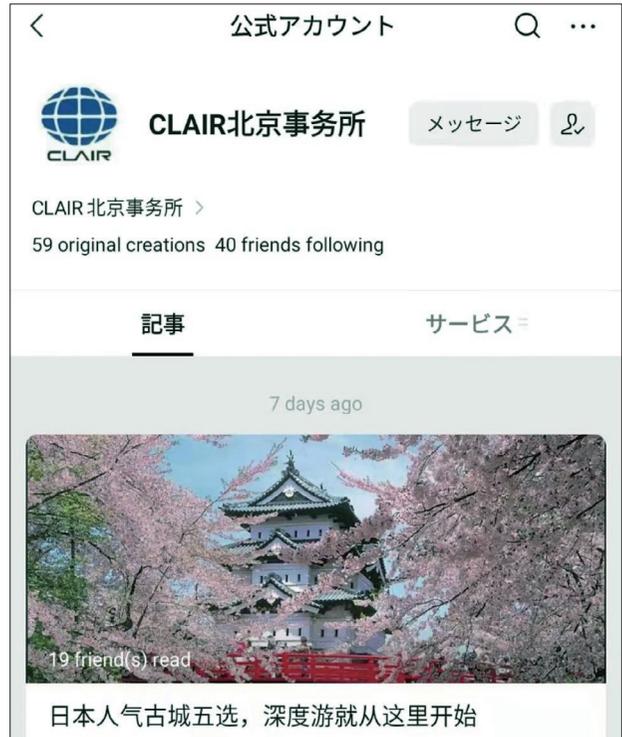
WeChat とは、中国大手 IT 企業のテンセントが提供する SNS ツールです。月間のアクティブユーザーは約 11 億人に上り、ショートメッセージでのやりとりのほか、各種支払い、情報発信・収集のソースなどとして中国人の生活に根付き、広く普及しています。

WeChat を活用した情報発信では、あらかじめ設定したテーマに関連した地域や名所、工芸品、美食などを紹介する記事を北京事務所の公式アカウントから定期的に配信しています。例えば、これまで夜景スポット、温泉、お花見スポット、お正月、日本のお祭り、お城、陶磁器、アニメ・漫画などのテーマを取り上げてきました。一番反響が大きかった夜景スポットの紹介では、北海道、新潟県、兵庫県、福岡県、長崎県の夜景の名所を紹介しました。

記事を読んだフォロワーからは「早く日本に行きたい」「このスポットはメモした。日本に行けるようになったら絶対に行く」といったコメントが寄せられています。こうした訪日意欲を盛り立てていくためにも、今後の渡航制限の解除を見据えて、SNS を活用した PR を継続的に行っていきたいと考えています。

フォロワー増加のための工夫

既存フォロワーを飽きさせず、かつ新規フォロワーの増加を図るため、フォロワーの興味関心を引きやすい



北京事務所公式アカウント

テーマを取り上げるほか、クイズキャンペーンを実施しています。2021 年度に実施したキャンペーンでは、過去に配信した記事を基にクイズを出題し、全問正解者の中から抽選で日本の伝統工芸品をプレゼントしました。クイズに正解するためのヒントとして関連する過去記事を読んでいただけるように誘導することで、配信内容に興味を持ってもらうとともに、新規のフォロワー獲得にもつなげています。2021 年度はクイズキャンペーンを 3 回実施し、多くの方に参加いただいた結果、新規フォロワーも約 3,400 人増加しました。

月刊誌「一番日本語」と連携した中国若年層向け情報発信

月刊誌「一番日本語」は中国の高校に在籍する日本語学習者を主な読者対象として、中日両語対照形式により



日本社会、観光、文学作品、言語知識、アニメ、ドラマ、流行情報などを紹介している雑誌です。2009年の創刊以来、国内外の著名な日本語教育家、日本社会評論家、訪日旅行作家、日本文学翻訳家らがさまざまなコラムの執筆を担当しており、日本語学習誌として毎月約1万部が中国全土で発行されています。



月刊誌「一番日本語」(定価：22.8元≒380円*)
※1元=17円換算

コラム「文化城市」と「人物訪談」

クレア北京事務所は「一番日本語」の発行元である大連理工大学出版社と連携し、「文化城市」と「人物訪談」の2つのコラムを通してさまざまな日本の魅力を伝えています。

「文化城市」のコラムは2016年度から連載を開始し、これまで都道府県を中心に多くの自治体の観光や文化、美食などの情報を発信してきました。自治体の皆様にご執筆いただく内容は多岐にわたり、以下の点を含むものとなっています。

《「文化城市」コラムで取り上げている内容》

- **美景**：公園、山、湖
- **温泉**：温泉の質や温泉街
- **名所旧跡・建築**：神社、寺、その他歴史的価値を有する建築物、有名施設
- **文化・イベント**：祭り、体験イベント・施設、ご当地キャラクター、アート、見学スポット
- **名物(美食)**：食べ物、地酒
- **名物(お土産・特産品)**：食べ物以外のお土産(焼物、織物、伝統工芸品など)
- **ポップカルチャー**：漫画・ドラマ・映画・小説などのゆかりの地
- **ショッピングスポット**：アウトレットモール

• **日中交流・文化交流・青少年交流**(表敬訪問、トップ会談等の外交的意味を含むものは除く)

読者からは「このコーナーは各地域の魅力が網羅的に紹介されていて、旅行目的地を決める参考になる」「コロナが終わったら毎月紹介されている地域を順番に巡ってみたい」といった声が寄せられています。



誌面の例(長野県・2021年5月号)

※「文化城市」の誌面はクレア北京事務所公式ホームページからも閲覧することができます。

<http://www.clairbj.org/sys/municipality/ichiban/>

「人物訪談」のコラムでは、2022年1月号から「JETプログラム事業」の紹介記事を掲載しています。日本や中国で働く中国人のJETプログラム経験者を対象に、日本語学習方法やJET当時の勤務内容、その経験を現在の仕事にどう生かしているかといった点をインタビュー形式で紹介しています。JETプログラム経験者の目線による新たな形での日本の魅力紹介は読者から好評です。

おわりに

クレア北京事務所では、2022年度も引き続きWeChatおよび「一番日本語」を活用した日本の魅力発信を実施していく予定です。

「一番日本語」の「文化城市」コラムでは、2022年5月号より政令指定都市にも記事を執筆していただいています。当該月刊誌上で中国の若者を中心とした日本語学習者に地域の魅力を発信してみたいというご希望があれば、ぜひクレア北京事務所までご連絡ください。また、当事務所公式WeChatアカウントでの情報発信についてもお気軽にご相談ください。

《連絡先》 メール：clairbj-jp@clair.org.cn

(担当：福田・戸國)